

# 十勝川中流部市民協働会議\_活動記録 (18)

## 十勝川相生中島上流湿地 (秋期) 魚類等調査の支援活動

---

平成 24 年に十勝川相生中島地区 右岸上流部において、河道掘削後の樹林化対策として新たな湿地環境づくりを目的として掘削された水域を、翌年の平成 25 年から帯広農業高等学校の「十勝川中流部川づくり班」が現地調査・湿地環境づくりのための調査を行い、平成 26 年秋から環境調査（魚類全量推定）を行っています。

平成 28 年に十勝川流域において大洪水が発生し、この湿地環境においても大量の土砂で覆いつくされたため、平成 29 年と今年春先（H30.5）に水域環境・湧水の増大を図るためバックホウで掘削作業を行いました。今年 7 月 31 日の夏季調査・活動支援に続き、今回は秋季調査・活動支援になります。

- 日 時：平成 30 年 10 月 15 日（月） AM 8：30～PM12：10
- 参加者：帯広農業高等学校 十勝川中流部川づくり班 8 名（1～2 年生）  
十勝川中流部市民協働会議事務局 2 名  
河川管理者 帯広河川事務所 10 名  
アークコーポレーション株式会社 9 名
- 場 所：十勝川右岸 相生中島地区上流部
- 活動支援内容 1：樹林化抑制調査（対象：ヤナギ実生の剪定：3 箇所）
- 活動支援内容 2：魚類調査（岸際部、狭窄部、広域部）



帯広河川事務所 所長の開会挨拶



帯広河川事務所 計画係長の調査行程説明



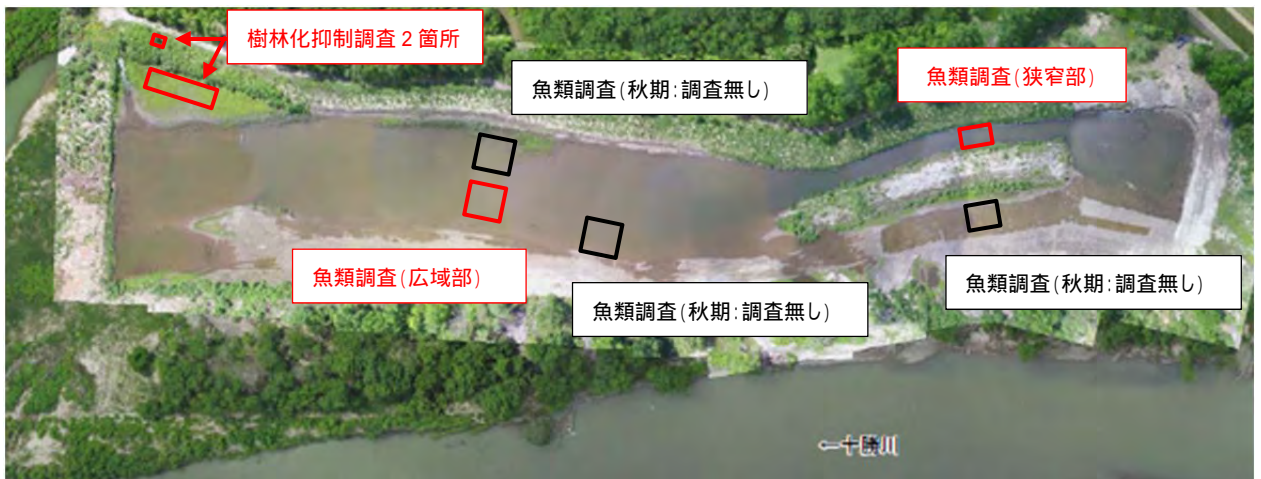
帯広農業高校の調査参加生徒



調査方法等の説明

【調査箇所】

調査箇所は、樹林化抑制調査として2箇所、魚類調査は、狭窄部、広域部の2箇所を調査しました。





## 活動支援内容 1：樹林化抑制調査

樹林化の抑制調査は、(1) 法面のヤナギ剪定処理調査と (2) 土砂州の樹林化抑制調査を平成 29 年度から行っています。

### (1) 法面のヤナギ剪定処理

夏期の調査では、ヤナギの計測作業を行いました。秋期の調査は、ヤナギの群落1m×1mの区画内のすべてのヤナギを地面近くで剪定処理を行い、来年の夏期調査で樹林化の抑制効果を確認します。



ヤナギ根元からの剪定処理区画



ヤナギの剪定処理の様子

### (2) 土砂州の樹林化抑制調査

平成 28 年の出水によって出来た土砂州において、大量に発生しているヤナギを対象に、4 つの調査方法で抑制効果平成 29 年から調査をしています。

調査方法は、1. 種まき+放置区、2. 種まき+刈り取り区、3. 種まきなし+刈り取り区、4. 対象区（未処理）の 4 つの調査箇所がありますが、今回は、その内 2. 種まき+刈り取り区、3. 種まきなし+刈り取り区、の 2 箇所についてヤナギ実生を地際部から刈り取りを行い、来年の夏期調査で樹林化の抑制効果を確認します。



剪定するヤナギ実生の状況



作業方法説明の様子





ヤナギ剪定 開始時の様子



ヤナギ剪定 作業途中の様子



ヤナギ剪定後の状況



## 活動支援内容 2 : 魚類調査

今回の魚類調査は、時間や作業人数の関係上、夏期（H30.7）の調査個所より3カ所少なく2箇所での調査としました。

調査個所は、1.中央広域部、2.狭窄水域部

調査は、仕切り網で調査区を作り、タモ網を使って追い込みにより魚類を全捕獲し、魚類の種類、捕獲数から湿地環境における魚類全体数等を推定していきます。



調査前の説明の様子



1列に並びタモ網で魚を捕獲する様子（1）



タモ網で魚を捕獲する様子（2）



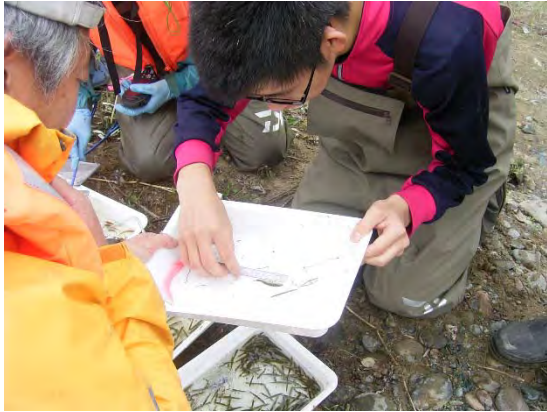
タモ網で魚を捕獲する様子（3）







捕獲した魚を種類別に分けている様子



魚体の計測風景



狭窄水域で捕獲された魚類



捕獲したイバラトミヨ



捕獲したイトヨ



捕獲したジュズカケハゼ



捕獲したウグイ属



捕獲したスナヤツメ



捕獲したフクドジョウ

●魚類採捕数

H30.7.31

種名	個体数					合計
	浅瀬部	左岸岸部	右岸岸部	中央部	狭窄水域区	
イトヨ	4	32	160	156	224	576
ウグイ	-	0	1	0	7	8
ジュズカケハゼ	98	318	139	458	190	1203
スナヤツメ	-	-	-	-	1	1
トミヨ属の一種	-	-	10	-	124	134
フクドジョウ	-	1	20	9	104	134
合計	102	351	330	623	650	2056

H30.10.15

種名	個体数					合計
	浅瀬部	左岸岸部	右岸岸部	中央部	狭窄水域区	
イトヨ	-	-	-	302	353	655
ウグイ	-	-	-	-	12	12
エゾホトケドジョウ	-	-	-	-	2	2
ジュズカケハゼ	-	-	-	91	736	827
トミヨ属の一種	-	-	-	-	228	228
フクドジョウ	-	-	-	-	136	136
ヤツメウナギ属の一種	-	-	-	2	11	13
合計	-	-	-	395	1478	1873

●魚類推定生息数

H30.7.31

種名	個体数					合計
	浅瀬部	左岸岸部	右岸岸部	中央部	狭窄水域区	
イトヨ	82	1,145	6,520	15,141	17,186	40,074
ウグイ	-	-	41	-	537	578
ジュズカケハゼ	2,015	11,380	5,664	44,451	14,578	78,088
スナヤツメ	-	-	-	-	77	77
トミヨ属の一種	-	-	407	-	9,514	9,921
フクドジョウ	-	36	815	873	7,979	9,704
合計	2,097	12,561	13,447	60,465	49,871	138,442

H30.10.15

種名	個体数			合計
	岸際部	中央部	狭窄水域区	
イトヨ	8,296	60,354	2,357	71,006
ウグイ	282	-	80	362
エゾホトケドジョウ	47	-	13	60
ジュズカケハゼ	17,296	18,186	4,914	40,396
トミヨ属の一種	5,358	-	1,522	6,880
フクドジョウ	3,196	-	908	4,104
ヤツメウナギ属の一種	259	400	73	732
合計	34,733	78,940	9,868	123,541



## 閉会の挨拶

閉会の挨拶は、帯広河川事務所 神保所長と生徒からお礼の挨拶がありました。



神保所長から閉会時挨拶



帯広農業高校生徒からお礼の挨拶